

学会記事

2020年度第1回理事会議事録

日時 5月23日(土) 15:45~17:40

【WEB会議形式】

出席役員 理事(47名): 渡邊(上松) 佐知子・芦 寿一郎・天野一男・安藤寿男・磯崎行雄・ウォリス サイモン・内野隆之・大藤 茂・岡田 誠・緒方信一・尾上哲治・笠間友博・狩野彰宏・亀尾浩司・亀田 純・亀高正男・川端清司・北村有迅・清川昌一・後藤和久・小松原純子・小宮 剛・齋藤 眞・坂口有人・佐々木和彦・杉田律子・高嶋礼詩・竹下徹・辻森 樹・内藤一樹・中澤 努・奈良正和・西 弘嗣・野田 篤・早坂康隆・平田大二・藤井正博・細矢卓志・星博幸・保柳康一・松田達生・松田博貴・三田村宗樹・道林克禎・矢島道子・矢部淳・山口飛鳥 監事(2名): 岩部良子・山本正司

欠席役員 理事(2名): 納谷友規・根本直樹

*成立要件: 理事総数49名の過半数25名 本日の出席者47名で本理事会は成立

*議決: 出席者の過半数24名

*開催にあたって:

- 1) 杉田前年度議長により開会、事務局より出席者数の確認。
- 2) 出席理事及び監事自己紹介
- 3) 書記2名の指名 大藤理事および芦理事

審議事項

1. 理事会議長・副議長の選出

齋藤理事より、議長として道林克禎前副議長が、副議長として山口飛鳥理事が推薦され承認された。杉田律子前議長より、退任の挨拶があった。

2. 会長=代表理事、副会長の選出

会員による意向投票の結果を鑑みて、下記の会長及び副会長が選出された。

会長=代表理事: 磯崎行雄、副会長: 佐々木和彦・平田大二

新正副会長より、それぞれ挨拶があった。

3. 執行理事の選出、部会長の選出

磯崎会長より、新執行理事と所属事業部会の提案があった。また、各事業部会長も提案された。審議の結果、原案通り選出された。

常務理事: 中澤 努、副常務理事: 岡田誠、運営財政部会: 緒方信一・亀高正男、学術研究部会: 辻森 樹(研究)・ウォリス サイモン(国際)・星 博幸(行事)、広報部会: 坂口有人・小宮 剛、

編集出版部門: 大藤 茂・狩野彰宏、社会貢献部会: 松田達生・矢部 淳・高嶋礼詩

*筆頭者が部会長

4. 2020年度事業計画変更(名古屋大会)について

・磯崎会長より2020年度学術大会(名古屋大会)の開催延期と代替企画について提案が

あった。審議の結果、来年度以降も含めた学術大会の1年順延と代替企画案を検討することが決議された。

・2021年度開催予定であった早稲田大会LOC(関東支部)にも事情を説明済みだが、連絡・周知が不十分な点があった。今後はより密に連携し、協力して検討・準備を進める。

・地質情報展については、実施母体の産総研は1年順延を考えているが、会場の名古屋科学館の状況や採択済の科研費の手続きも確認した上で再度検討することとなった。

5. 組織再編に伴う委員会体制の確認

・佐々木副会長からこれまでの経緯と課題が説明された。組織化されていない委員会、委員名簿が完備されていない委員会が多くあり、学会HPの組織図(当時)が学会規則と整合していなかったが、組織図については坂口理事の協力を得て規則と整合するものに更新された旨が説明された。

・今後の工程が再確認され、各委員会が委員構成と規則の見直しを行って執行理事会に報告し、7月頃に臨時理事会を開催して委員を承認することを目指す。

・佐々木副会長より、次期(2022-23年度)からは各委員会の委員長と委員構成を早めに決定し、5月の第1回新理事会で承認を得るようにすべきとの意向が述べられた。

6. 各賞選考委員会委員の選出

以下の10名を互選で選出した。役職指定委員を合わせて、以下の陣容となった。

【層序】西 弘嗣、後藤和久、尾上哲治、野田 篤

【岩石】道林克禎、早坂康隆

【構造】竹下 徹(委員長)

【博物館学】川端清司、矢部 淳

【民間】細矢卓志

役職指定

【地質学雑誌前・現正副委員長】山路 敦・大藤 茂・岩森 光・中澤 努・小宮 剛

【Island Arc前・現委員長】田村芳彦、武藤鉄司、辻森 樹、狩野彰宏

報告事項

1. 執行理事会報告

齋藤前常務理事より2019年度第9回~第13回執行理事会の報告がなされた。特に、新理事会に2020年度学術大会(名古屋大会)の計画変更を提案するに至った経緯が詳しく説明された。

2. 理事および委員会等報告

1) 地質技術者教育委員会(佐々木): 学会行事におけるCPD証明の推進について

佐々木副会長より、地質学の専門技術者(企業会員)が講演会やシンポジウムなどの学会行事に参加して、資質向上のための継続教育に臨んだことを証明するCPD証明制度の紹介があった。また、会員の1/4を占める企業会員を対象に、CPD証明制度を推進し

たいとの意向が述べられた。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び副議長出席監事、理事は次に記名捺印する。

2020年5月23日

一般社団法人日本地質学会

理事会議長 道林克禎

理事会副議長 山口飛鳥

前任代表理事 松田博貴

代表理事: 会長 磯崎行雄

(以下、出席理事氏名省略)

2020年度第2回理事会議事録

日時 7月11日(土) 15:00~16:50 【WEB会議形式】

出席役員 理事(42名): 芦寿一郎・天野一男・安藤寿男・磯崎行雄・ウォリス サイモン・内野隆之・大藤 茂・岡田 誠・尾上哲治・狩野彰宏・亀田 純・亀高正男・川端清司・北村有迅・後藤和久・小松原純子・小宮 剛・齋藤 眞・坂口有人・佐々木和彦・杉田律子・高嶋礼詩・竹下 徹・辻森 樹・内藤一樹・中澤 努・納谷友規・奈良正和・根本直樹・野田 篤・早坂康隆・平田大二・藤井正博・星 博幸・保柳康一・松田達生・松田博貴・三田村宗樹・道林克禎・矢島道子・矢部 淳・山口飛鳥 監事(2名): 岩部良子・山本正司

欠席役員 理事(7名): 上松(渡邊) 佐知子・緒方信一・笠間友博・亀尾浩司・清川昌一・西 弘嗣・細矢卓志

*磯崎会長より挨拶

*成立要件: 理事総数49名の過半数25名 本日の出席者42名で本理事会は成立。

*議決: 出席者の過半数21名

*開催にあたって: 書記2名の指名 尾上理事および奈良理事

報告事項

1. 執行理事会報告

中澤常務理事より、配布資料(2020年度第1回執行理事会議事録および同第2回執行理事会議事次第)に基づき執行理事会の議事概要が報告された。

亀高理事より、会員数について昨年前月より81名減との報告とともに、1名の名誉会員ならびに6名の正会員の逝去が報告され、全員で黙祷が捧げられた。

来年度の名古屋大会に関して、会場校の道林理事より9月上旬の開催を旨とする報告がなされた。

2. 理事・委員会等の報告

1) 中澤常務理事より、各賞選考委員会規則改正案の説明とともに、9月の理事会で承認

された場合、今年の秋から適用したい旨の説明がなされた。これについて、磯崎会長より改正の経緯についての補足説明がなされ、質疑応答ののち、原案の方向で継続審議することとなった。

2) 地質学雑誌編集委員会

大藤理事より、編集状況について報告がなされた。

3) アイランドアーク編集委員会

狩野理事より、編集状況、ダウンロード数、被引用状況、インパクトファクター (IF) について報告がなされた。特に、2019年のIFは1.655となり、前年の0.83からほぼ倍増した旨の報告がなされた。

審議事項

1. 組織再編に伴う委員会体制

佐々木副会長より、組織再編の経緯とそれに伴う新たな委員会体制について説明がなされた。また、資料のうち「日本地質学会 委員会一覧」に示された新委員会案についての了承が求められ、意義なく承認された。松田博貴理事から、学会ホームページへの掲載について質問があり、佐々木副会長から掲載する旨の回答があった。

2. 名古屋大会中止に伴う代替企画について

①表彰・記念講演

星理事より、2020年9月13日(日)の午後に受賞者の記念講演をオンラインで行う予定であることが報告された。

②ショートコース

星理事より、第1回ならびに第2回ショートコース(案)の詳細について、9月19日(土)と10月24日(土)の両日に各2名の講師を迎えて開催予定といった説明がなされ、磯崎会長からも、今後テーマ等を変えて継続していきたい、との補足説明がなされた。また、亀高理事から、会計案についての説明がなされた。

会計案に対して、杉田理事より、講師謝金の額が学会で制定された謝金細則に準拠していないこと、また、細則の改正時期が古く、現状にそぐわない可能性がある旨の指摘がなされた。これらについて意見交換がなされたのち、平田副会長から今後執行理事会で検討する旨の回答がなされた。

この他にも、オンラインでの参加者数、広報の方法、技術者へのCPDポイント付与、学生への受講証明付与等について意見が交換され、原案について大枠で承認された。細かな点については、引き続き行事委員会・執行理事会で検討しつつ計画を推進することとなった。

③支部単位の学術発表会 [報告]

平田副会長より、支部単位での学術発表会の開催を各支部長に申し入れたところ、現状では関東支部と近畿支部から、対面開催の実現可能性の低さ等の問題点から開催は難しい旨の回答があったことが報告された。これに対し、西日本支部長の早坂理事から、オンラインでの開催を含め、年度末開催を目指して

調整中との報告がなされた。

④JABEE関係の資料の刊行と配信 (佐々木)

佐々木副会長より、JABEEシンポジウムの代替企画として、「大学における地質技術者育成と地学教育の継続に係るオンラインシンポジウム」を行うことが説明され、質疑ののち大枠で承認された。なお、細部については今後地質技術者教育委員会で検討し、執行理事会を中心に調整を行うこととなる。

⑤小・中・高「地学研究」発表会 (デジタルポスター) [報告]

地学教育委員会の高嶋理事より、今年度のジュニアセッションの開催形態案について、参加校がアップロードしたポスターを審査する等の説明がなされ、異議なく承認された。

⑥地質系若者のためのキャリアビジョン誌

坂口理事より、「若手会員のための地質関連企業サポート」の代替企画として、大学のキャリア教育での活用を目指したキャリアビジョン誌を2,000部程度発行し、大学教員の会員を通じて学生らに配布することが説明され、質疑ののち承認された。

*磯崎会長より閉会挨拶。

*山本監事より理事会へのコメントおよび挨拶。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席監事・理事は次に記名・捺印する。

2020年7月31日

一般社団法人日本地質学会

理事：議長 道林克禎

理事：副議長 山口飛鳥

代表理事：会長 磯崎行雄

(以下、出席理事氏名省略)

Applied Isotope Geochemistry : 2021/8/3-8/7開催予定) (地質学会共催) は、COVID-19問題で、東京オリンピック延期に伴い、2022/7/31-8/4頃(仙台国際センター)に延期の予定。また組織委員交代は、松田前会長→磯崎会長に変更。

・学会事務局は、6月1日以降交代制でテレワークを実施している。事務所営業時間や電話対応は通常通り。

2. 運営財政部会:総務委員会(緒方・亀高)
<共催・後援依頼、他団体の募集等>

・経済産業省産業標準化事業表彰公募(6/12締切)について、産総研地質調査総合センターを推薦した(推薦理由:地質JIS原案作成・制定・改正への貢献)。

・文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞及び研究支援賞受賞候補者推薦依頼(7/22締切、学会締切7/1) →geo-flash, HP掲載。

<会員>

1) 今月の入会者(2名)

正会員(1名):中川 渉

正(院割)会員(1名):富岡優貴

2) 今月の退会者(正会員2名):上田修郎
高橋美織

3) 今月の逝去者(2名)

名誉会員:鈴木堯士(逝去日2020年6月1日)

正会員:鈴木俊一(逝去日2020年4月15日)

4) 2020年5月末会員数

賛助:27, 名誉:44, 正会員:3381 [正会員:3297, 正(院割)会員:82, 正(学部割)会員:1], 合計:3452(昨年比-77)

<会計>

・2020年名古屋大会の演題登録システム(confit all)及び大会運営委託費について、大会中止決定までに発生したの経費を精算した。confit allの基本料金は満額請求(70万)となるが次年度大会利用時に60万円の値引が提示された。

・会計監査を6/22に実施予定。

3. 広報部会:広報委員会(坂口・小宮)

・NHK番組制作会社より取材協力(映像提供等)の依頼があり、会員個人として協力できる方をメルマガで呼びかけた。1名の会員から連絡があり、制作会社に紹介をした。

4. 学術研究部会(辻森・ウォリス・星)

1) 行事委員会(星)

・2020年度科研費の繰越を学術振興会に確認したが、現時点で来年9月への延期が決定しているため繰越申請は不可。8/28までに交付申請辞退の手続きを取る。来年度(2021年度)は改めて申請予定。

・2021年の名古屋大会の日程について、名古屋大会LOC及び産総研、名古屋科学館、関連学協会と情報共有をし日程を調整中。

2) 専門部会連絡委員会(辻森)

特になし

3) 国際交流委員会(ウォリス)

・モンゴル地質学会とのMOU更新のため書

面を作成したが、新型コロナの影響により郵便の引受停止中(6/5現在)。再開され次第発送予定。

4. その他

特になし

5. 編集出版部会(大藤・狩野)

1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

・編集状況報告(6月10日現在)

2020年投稿論文:34 [内訳] 論説13(和文112・英文1), レター5(和文5), 総説1(和文1), ノート2(和文1, 英文1), 報告3(和文3), 口絵1(英文1), 巡検案内書8, 査読中:35, 受理済み:16(うち特集号8)

・126巻5月号(通常号)論説3編, 報告1編(59頁, 6/3発送済)。

・126巻6月号(通常号)論説2編, 報告2編(約50頁, 校正中)。

・126巻7月号(名古屋巡検案内書)案内書4編(約60頁, 入稿準備中)

・来年は巡検案内書の掲載がない分、原稿数の減少が予想される。加えて今後コロナによる投稿数減少も考慮して対策が必要ではないかとの意見があった。

2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

・編集状況報告:現状の投稿状況やコロナによる投稿数への影響が危惧されていることなどが報告された。

3) 企画出版委員会(小宮)

屋久島たんけんマップ増刷について→審議事項へ

6. 社会貢献部会(松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会(高嶋)

・第17回高校生科学技術チャレンジ(JSEC2019)事業実施報告があった。なお事業実施後に上位入賞者を国際大会「Intel ISEF」に派遣しているが新型コロナの影響により国際大会は中止となった。

2) 地質技術者教育委員会(佐々木)

特になし

3) 生涯教育委員会(矢部)

特になし

4) その他

・地震火山子どもサマースクール(旧担当:星):学会より申し入れを行い、「地震火山地質子どもサマースクール」と名称が変更された。2020年度の浅間山ジオパークでの開催は、コロナの影響により2021度に延期となった。各学会の拠出金については、大会毎の拠出のため、すでに発生している下見費用を含めて2021年度大会用として最大20万円を地質学会(今年度予算)から拠出する予定。

7. ジオパーク支援委員会(平田)

・日本ジオパーク委員会からの世界ジオパーク申請事前机上審査(白山手取川ジオパーク)のレビュー選定委託について、地質学会から4名に審査を依頼し承諾された。

・日本国内ジオパーク再審査:2016年度に新規・再認定(10地域)、2018年度に条件付き再認定(1地域)

8. 地学オリンピック支援委員会(高嶋)
特になし

9. 地質災害委員会(松田)

・防災学術連携体の窓口として、斎藤前常務理事に代わり、中澤常務が、前期に引き続き松田地質災害委員会委員長が担当する。

以上

2020年6月22日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事)磯崎行雄
署名人 執行理事 中澤 努

2020年度第2回理事会議事録

期日:2020年7月11日(土)12:30~14:50

【WEB会議】

出席者:磯崎会長・佐々木副会長・平田副会長・中澤常務・岡田・大藤・亀高・坂口・ウォリス・小宮・松田・星・辻森・矢部・高嶋・狩野

事務局 澤木

欠席者(委任状提出あり、カッコ内は委任者):緒方(磯崎)

*定足数(12, 委任状含む)に対し、出席者16名, 委任状1名, 合計17名の出席

*前回議事録(20-1回)の確認。一部修正のういで確定することで了承した。

I 審議事項

1. 理事会審議事項と資料の確認

各審議事項の詳細について説明があり、内容を確認した。

1) 組織再編に伴う委員会体制(佐々木)

2) 名古屋大会中止に伴う代替企画について
①表彰・記念講演(星)

②ショートコース(星)

③支部単位の学術発表会(平田)

④JABEE関係の資料の刊行と配信(佐々木)

⑤小・中・高「地学研究」発表会(デジタルポスター)(高嶋)

⑥地質系若者のためのキャリアビジョン誌(坂口)

2. 学術大会シンポジウムのあり方について(星)

学術大会のシンポジウムは、近年参加者が少なく、内容が一部の興味に偏っているのではないかと、会員全体が(一般公開の場合は市民)が広く問題意識を共有できる企画が本来ではないかとの問題提起があり、位置付け、決め方、時間的制約など全体の枠組みや技術的な面など様々な方向から問題点が挙げられた。2021年の名古屋大会に向けて継続審議とし、12月までにシンポジウムの企画を決める方針が示された。

3. 各賞選考委員会規則改正案の検討につい

て(磯崎)

各賞選考委員会が諮問する各賞選考検討委員会の委員選考方法について、役職指定の縛りを緩和して弾力的に委員を選考できる案が提案された。継続して審議し、9月理事会での規則改正を目指す。

4. 地質学雑誌の活性化策(大藤)

地質学雑誌への投稿を増やすための方策が提案され、議論した。編集委員会より9月の執行理事会に投稿増加策および投稿編集出版規則改正案が提案される。

II 報告事項

1. 全体的報告

・自然史学会連合主催講演会(12/6@北九州市立いのちのたび博物館)の開催可否に関する検討依頼があり、公衆衛生上の配慮を行う会場側とも相談して対策を講じて開催することを了承した。

2. 運営財政部会:総務委員会(緒方・亀高) <共催・後援依頼、他団体の募集等>

・日本地球化学会年会(オンライン大会:2020年11月頃)への共催依頼があり承諾した。

・第18回高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC2020)(募集期間9/4-10/5)の後援名義使用を承諾した。

・新潟大学旭町学術資料展示館企画展示「ジオパークの微化石展」(開催期間:8/1-9/6)に対する後援申請を承諾した。

・藤原ナチュラルヒストリー振興財団シンポジウム(地質学会後援)開催中止の連絡があった。

・桜島・錦江湾ジオパーク学術推進員(会計年度任用職員)の募集(7/22締切)→geo-flash掲載

・令和2年度下北ジオパーク研究助成(7/22締切)→geo-flash, ニュース誌掲載

・第42回(令和2年度)沖縄研究奨励賞推薦応募(9/30締切, 学会締切9/4)→geo-flash, ニュース誌掲載

・日本アイソトープ協会奨励賞候補者募集(10/30締切)→geo-flash, ニュース誌掲載

・第61回東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者推薦(10/9締切, 学会締切9/4)→geo-flash, ニュース誌掲載

・「朝日賞」候補者推薦依頼(8/25締切, 学会締切8/3)→geo-flash, ニュース誌掲載

・「原子力総合シンポジウム2020」(2020年9月WEB開催予定)に関する事前説明会(7/6, WEB会議)に担当として緒方理事が出席した。

・石油資源開発株式会社より役員就任の挨拶があった。(代表取締役会長 渡辺 修, 代表取締役社長 藤田昌宏 ほか)

<会員>

1) 今月の入会者(1名)

正会員(1名): 井田貴史

2) 今月の退会者(11名)

正会員(10名): 北垣直貴・岡 智司・吉田鎮男・宮澤美幸・谷本真済・竹中夏子・三

鍋久雄・青木 南・劉 舒雨・田中 涉

正(院生割引)会員(1名): 丁 望

3) 今月の逝去者(正会員2名)

小林巖雄(逝去日2020年4月11日)・渡部吉和(逝去日2020年4月24日)

4) 2020年6月末会員数

賛助: 27, 名誉: 45, 正会員: 3371 [正会員: 3287, 正(院割)会員: 82, 正(学部割)会員: 2]

合計 3443 (昨年比-81)

<会計>

・地学オリンピック協賛団体加入を承諾し、予算通り協賛金20万円を送金する。

<その他>

特になし

3. 広報部会: 広報委員会(坂口・小宮)

・JpGUオンライン展示を申し込み、事業内容やフォトコンテスト紹介を盛り込んだiPosterを作成した。

4. 学術研究部会(辻森・ウォリス・星)

1) 行事委員会(星)

・2021年の名古屋大会の日程について、名古屋大会LOCに土日祝での開始を願ひし、下記の通り日程候補が決定した(会場予約の都合により日程確定は来年1月)。

第1候補: 9月5日(日)~7日(火)

第2候補: 9月23日(木, 秋分の日)~25日(土)

・名古屋大会の代替企画について→[審議事項へ]

2) 専門部会連絡委員会(辻森)

3) 国際交流委員会(ウォリス)

・モンゴル地質学会へMOU更新のため書面を近日発送予定。

4) その他

特になし

5. 編集出版部会(大藤・狩野)

1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

・編集状況報告(7月5日現在)

2020年投稿論文: 40 [内訳] 論説19(和文18・英文1), レター5(和文5), 総説1(和文1), ノート3(和文2, 英文1), 報告3(和文3), 口絵1(英文1), 巡検案内書8, 査読中: 33, 受理済み: 21(うち特集号9, 案内書2)

・126巻6月号(通常号) 論説2編, 報告2編(50頁, 発行済)。

・126巻7月号(名古屋巡検案内書) 案内書4編(約60頁, 校正中)

2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

・編集状況報告 昨年よりも投稿状況が改善され、査読プロセスが短縮化されてきたと報告された。この半年間のダウンロード数および被引用数の多い論文が紹介された。最新のインパクトファクターが1.655であり昨年から急増した。

3) 企画出版委員会(小宮)

特になし

6. 社会貢献部会(松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会(高嶋)

・ジュニアセッション(デジタルポスター)

の実施概要が紹介された

2) 地質技術者教育委員会(佐々木)

・名古屋大会順延に伴うJABEEシンポジウム代替企画について、7/9に委員会(zoom会議)を開催して検討した。

・ジオスクーリングネット協議会の今年度の会合がコロナウィルスの関係で3月から延期していたが、このたび正式に中止となった。

・JABEE審査に関して、7/17に地球・資源分野の運営委員会が開催されることとなり、佐々木が出席する予定。

3) 生涯教育委員会(矢部)

特になし

4) その他

特になし

7. ジオパーク支援委員会(平田)

・日本ジオパーク委員会より、「(仮称)日本ジオパーク地球科学評価機構」(コンソーシアム)の設置事前相談会議(7/20, WEB会議)への出席依頼があり、平田副会長が出席予定。

8. 地学オリンピック支援委員会(高嶋)

・地学オリンピック日本委員会より問題作成者の推薦依頼があり、会員1名を推薦した。

9. 地質災害委員会(松田)

・防災学術連携体のホームページに地質学会の令和2年7月豪雨関連情報の纏めサイトをリンクした。

以上

2020年8月1日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事) 磯崎行雄
署名人 執行理事 中澤 努